

先週の放送(久志先生)「緩和ケアについて」のおさらい

病気によって患者さんやご家族は痛みやだるさ、息苦しさなどの体のつらさ。心配で眠れない、イライラする、これからどうなるのか不安といった心のつらさ。入院や治療でかかる費用、仕事ができない、家族の負担になるのではないかなど社会的なつらさ。なんで私だけ?なんで病気になってしまったんだろう…。などの人生の意味に対する問などのスピリチュアルなつらさが見られます。

緩和ケアの役割は、病気に伴う心と身体をつらさを和らげ、患者さんご家族が「自分らしく」過ごせるように支えることを目指します。

沖縄病院では、患者さんご家族に緩和医療科医師・薬剤師・臨床心理士・栄養士・医療ソーシャルワーカー・看護師がチームになって患者さんや、ご家族のつらさが緩和できるように支援しています。

今回は、緩和ケア病棟についてご紹介します

Q:緩和ケア病棟はどんなところ?どんな人が入院できるの?

A:緩和ケア病棟は、治ることが難しい「がん」や「AIDS」などの患者さんご家族の抱える心や身体などのつらさをできる限り和らげることを目指す場所です

Q:県内には緩和ケア病棟はどこにあるの?

A:県内には、当院を含めて5施設のホスピス・緩和ケア病棟があります。

糸満市：南部病院 那覇市：オリブ山病院 西原町：アドベンチストメディカルセンター
宜野湾市：沖縄病院 うるま市：与勝病院

Q:どうすれば入院できるの?

A:患者さん、ご家族が入院したいと希望していることが大切です。入院中の場合には主治医の先生や看護師、医療ソーシャルワーカーへ話をしてください。

所定の質問用紙に「緩和ケア病棟でどのように過ごしたいのか…」などを記載していただきます。緩和ケア外来を受診して入棟審査を経て入院の調整をさせていただきます。

Q:病名を知らないと入院できない?

A:限りある時間をその人らしくすごしていただくために、病名・症状を正しく理解していただくことも大切です。しかし、病名を知りたくないという方に対しては配慮いたします

Q:付き添いはできるの?

A:側に付き添うことが可能です。夜間の付添いも可能です。面会時間の制限もありません。

Q:外出・外泊・退院はできるの?

A:可能な限り、患者さんご家族のご希望を尊重させていただきます。

Q:入院費はどのようにですか?

A:一般病棟と同じく健康保険が適用されます(高額療養費適用)。個室は有料個室(4室)¥3240/日(保険適用外)、無料個室(12室)、2人部屋(2室)があります。

Q:痛みなどのつらい症状を和らげるために入院することはできるのか？

A:つらい症状を和らげるために治療は行いますが、本人の望まない治療（苦痛を伴う治療、延命のための治療）は行いません。

Q:どこに相談したらよいのでしょうか？

A:緩和ケア電話相談窓口をご利用ください。受付時間は、月曜日～金曜日 10時から17時までです。

土日、祝祭日はお休みです。緩和ケア師長・緩和ケア認定看護師までご相談ください。

病棟見学も受け付けていますので、電話で、お申込みください。